

(別紙3)

評価細目（福祉サービス別項目【救護施設版】）の福祉サービス評価結果

評価分類1 利用者の尊重

1-(1) 利用者の尊重

評価細目	評価結果
1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	Ⓐ・b・c
1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	Ⓐ・b・c
1-(1)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	Ⓐ・b・c
1-(1)-④ 利用者のエンパワメントの理念にもとづくプログラムがある。	a・Ⓑ・c
1-(1)-⑤ 虐待等（体罰、身体拘束、暴言、暴力、無視、放置等）の人権侵害の防止策及び万々に備えた対応方法が定められている。	Ⓐ・b・c
評価所見 身体障害者、知的障害者、精神障害者、何れかの重複障害者、生活障害者（ホームレス等）という多岐にわたる支援ニーズに対し、利用者の個々の自己実現のための支援計画を策定されている。職員は支援計画を策定する際、本人の「思い」を聞き取り共に作り上げていく姿勢があり、利用者との信頼関係を築いている。また、自治会活動やクラブ活動、就業の情報提供等、利用者の意見、意思を尊重する具体的な取り組みがなされている。利用者のエンパワメントに基づいた自立支援プログラムは、自立阻害要因について取り組むべき具体的内容となっているが更に一層自立に向けたプログラムを期待される。	

評価分類2 日常生活支援

2-(1) 食事

評価細目	評価結果
2-(1)-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	Ⓐ・b・c
2-(1)-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	Ⓐ・b・c
2-(1)-③ 喫食環境（食事時間を含む）に配慮している。	Ⓐ・b・c
評価所見 利用者の意見を反映する取り組みとして、定期的嗜好調査や利用者の参加する給食会議等がある。利用者の個別の食事形態は個別支援計画に反映されるよう取り組まれている。体調の変化については情報を共有し、必要に応じた食事を提供している。肥満対策としてマンナン光（こんにゃく米）、咀嚼・嚥下状態の悪化防止として刻み・とろみ食を提供している。また、選択メニューを実施しており温かい食事を提供するよう取り組まれている。家庭的な雰囲気や郷土料理を取り入れるなど、季節を感じ取れるような工夫がされている。食事風景はレストランのようであり友人との食事を楽しまれている。	

2-(2) 入浴

評価細目	評価結果
2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	Ⓐ・b・c
2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って安全かつ適切に行われている。	Ⓐ・b・c

2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	Ⓐ・b・c
<p>評価所見</p> <p>大きな窓で明るい浴室、脱衣室の清潔に環境整備もなされており、入浴支援は同性職員介助である。重度利用者の失禁や汗をかいた時に備え、シャワー室を浴室以外にも設けている。入浴介助はプライバシーを重視したものとなっており、入浴時は健康状態をチェックし適切に介助がなされている。</p>	

2-(3) 排泄

評価細目	評価結果
2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。	a・Ⓑ・c
2-(3)-② トイレは清潔で快適である。	Ⓐ・b・c
<p>評価所見</p> <p>排泄用具使用に関するマニュアルはあるが、排泄介助マニュアルがない。利用者の排泄誘導やおむつ使用については、個別支援計画において職員は情報を共有しているため介助は適切に行われている。トイレに冷暖房設備はないが、保温便座である。車いすのまま利用できる個室も設備されている。支援記録には排泄記録があり、健康管理されている。</p>	

2-(4) 衣服

評価細目	評価結果
2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	Ⓐ・b・c
2-(4)-② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	Ⓐ・b・c
<p>評価所見</p> <p>衣類はアンケートを取り利用者の好みの物を把握して、店に買い物に出かける。買い物へ出かける際には、チラシなどの情報を提供して利用者が品物を選択できるように心がけている。利用者の自立を促すためにも、本人が希望される場合に洗濯機を使用できるよう設備している。また、破損した場合は繕いをするなど、職員が修復をしている。衣類の着替え支援は本人の自立を阻害しないよう職員は心がけている。</p>	

2-(5) 理容・美容

評価細目	評価結果
2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	Ⓐ・b・c
2-(5)-② 理髪店や美容院の利用について配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>評価所見</p> <p>施設内に理容・美容室を設備し、利用者の好みの髪型にしてもらっている。施設外の理容・美容室に行きたい利用者は送迎をするなど配慮している。施設より1200円の補助がある。また、化粧を楽しむ美容クラブの活動など、利用者の希望を取り入れながら職員は支援している。</p>	

2-(6) 睡眠

評価細目	評価結果
2-(6)-① 安眠できるように配慮している。	Ⓐ・b・c
<p>評価所見</p> <p>巡回の際は利用者の安眠を妨げないように心がけている。同室者のイビキで眠れない方には、いびきをかく利用者を同室にするなどの工夫をしている。</p>	

2-(7) 健康管理

評価細目	評価結果
2-(7)-① 日常の健康管理は適切である。	Ⓐ・b・c
2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	Ⓐ・b・c
2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	a・Ⓑ・c
評価所見 施設内でのリハビリ・歯科治療が受けられる等、地域の医療機関と十分な連携を取られている。保健系マニュアルとして「衛生管理」「疾病予防・治療」「緊急時」「感染症・食中毒に関する行動と対策」等がある。薬品類はすべて医務室内の施錠できる環境で管理を行っており、職員が医務室不在の折は必ず施錠するなど管理を厳重に行っている。一人ひとりの利用者に使用されている薬品の管理のマニュアルはないが、アセスメントの中で薬の目的・性質・効果・副作用・注意事項などの情報を共有している。今後、多様な障害をもつ利用者のかたを受け入れていくために、薬の保管から服用・使用確認に至るまでの薬に関するマニュアルの充実を期待する。	

2-(8) 余暇・レクリエーション

評価細目	評価結果
2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	Ⓐ・b・c
評価所見 クラブ活動において、ボランティア室を設け、必要に応じて外部からの協力者を（ボランティア）を受け入れている。クラブ活動としては、パッチワーク・生花・絵画・舞踊・農作業・生活・自由・美容・音楽・軽作業クラブがある。	

2-(9) 外出、外泊

評価細目	評価結果
2-(9)-① 外出は利用者の希望に応じて行われている。	a・Ⓑ・c
2-(9)-② 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	a・Ⓑ・c
評価所見 利用者の特性が多種であり、利用者の自治会などと話し合って外出のルールが決められない。しかし、施設に閉じこもりがちにならないように、年2回の旅行を計画しルートを選択できるような取り組みを行っている。家族からの外泊受け入れが出来ない利用者も旅行をととても楽しみにしている。	

2-(10) 作業

評価細目	評価結果
2-(10)-① 必要により作業を提供している。	Ⓐ・b・c
評価所見 施設内の環境整備など利用者の意欲を助長する方法の取り組みを行っている。掃除・園内の手伝い・除草等に対して賃金を支払ったり、利用者の自主性と能力に応じた作業内容となっている。	

2-(11) 地域生活への移行

評価細目	評価結果
2-(11)-① 必要に応じて地域生活へ移行するための支援を行っている。	Ⓐ・b・c

評価所見

必要に応じて、地域生活へ移行するための支援が行われている。個別アセスメントを実施し、個別支援計画を立て地域生活へ移行することが可能かどうか判断され、福祉事務所と連携しながら、利用者本人や家族と共に移行について検討する体制がある。地域移行は今後の一番の課題であるが、居宅支援、通所支援、就労支援等がある。福祉事務所やハローワークと連携し就労支援を取り組んでいるが、施設から地域へ移行する際の大きな問題として、保証人の不在がある。行政と連携を取りながら今後の取り組みを期待する。

2-(12) 所持金・預かり金の管理等

評価細目	評価結果
2-(12)-① 預かり金について、適切な管理体制が整備されている。	Ⓐ・b・c
2-(12)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	Ⓐ・b・c
2-(12)-③ 嗜好品（酒、たばこ等）については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	Ⓐ・b・c

評価所見

所持金・預かり金の管理等適切な管理体制が整備されている[金銭等管理依頼書]「預かり証」に署名する際、利用者へ説明している。自己管理に支援を必要とする人には、自己管理に向けた取り組みをしている。また、経済的な対応能力を高めるための学習プログラムとして、自動販売機を園内に設置し、現金を使いおやつを購入している。新聞雑誌の購読は自由である。また嗜好品は（酒・たばこ）は健康を害せず、入所規程に従いながら本人の希望をきいている。